

よこぜ議会ナビは
横瀬町議会が皆さんに
年4回お届けする議会発行の
広報紙。議会審議の経過や議員の
活動を解説とともにわかりやすく
お伝えしていきます。

いちごマルシェ開催「横瀬3人いちご娘」



健康まつり「懐かしい手作りすいとん美味しかったなあ♡」



議会ホームページも
あわせてご覧ください

横瀬町議会

検索

よこぜ

No.146

議会ナビ



宇根の春祭り

植樹祭イベント「大きくな〜れ」



全国植樹祭・台湾祭々開催記念

2025年春号（令和7年3月定例会）

P.2

令和7年度予算を可決
一般会計47億5500万円
議員はココに注目！

「台湾祭々潜入レポート」
「ピカピカの1年生インタビュー」

今号の動画

P.5

8名の議員が登壇
町の考えを問う〔一般質問〕



YouTube
横瀬町公式
チャンネル



議員はココに注目！

3月定例会
(3/7～3/11)

人件費・物価高騰の中、横瀬町は

住民の安心安全・少子高齢化 対策にしっかり予算を配分

子育て・教育

問 スクールバス運行委託金で、利用者の状況と今後の運行課題は。

答 令和7年度は、小学生9名、兄弟等で希望する中学生3名（小学校まで）が乗車予定。検討を重ねた結果、町としては令和7年度以降もスクールバスを運行していく予定。

問 横小放課後子ども教室運営事業が増額の理由は。

答 待機児童を出さず申込者全員が入室できるよう、指導員を3名増やしたため。

問 国際交流事業の海外派遣事業は、今後どうしていくのか。

答 海外派遣事業に関しては今回も検討したが、円安の影響もあり、見積り価格が従来の3倍～4倍になった。

暮らし・防災

てしまったため、資金的に厳しいと判断した。そのための代替事業として、中学2年生全員と3年生の希望者を対象とした、国内まちなか留学事業を行うこととした。

問 防犯カメラ等補助金の金額、対象の件数は。

答 防犯抑止力の向上のために、各家庭で防犯カメラ等の防犯対策用品の購入について補助金を支出するもの。対象は防犯カメラや人感センサーライト、防犯性の高い鍵、モニター付きインターホン等。補助額は2万円上限（補助率は2分の1）。対象件数は50件。

問 防犯カメラ等設置工事費に関して、どこに設置する予定か。

答 設置場所としては、活性化センターに4機、総合福祉センターに4機、児童館に4機、町民会館に6機、エリア898に3機、保育所に6機、町民グラウンドに5機、ウォーターパークに12機を予定している。

町づくり・移住

問 ウェルビーイング事業負担金の事業の内容は。

答 イベントやワークショップの開催を予定している。令和6年度はこどもの居場所ワークショップや、お祭りを未来に残すためのワークショップなどを実施。地域に根ざしたワークショップなどを令和7年度でも開催の予定。また「しあつく基金」といった地域の活動



ワークショップの様子



HP「しあつく」
詳しくはこちら

についての助成制度があるが、令和7年度も取り組んでいく。しあつく協議会では、地域おこし協力隊を受け入れてもらい連携し、ウェルビーイングの活動を行っていく。また町外から企業をお招きして企業向けのワークショップを行う。

問 移住定住促進事業で写真料があるが、イベントの企画があるのか。



当初予算総額74億9700万3000円を可決

一般会計47億5500万円 特別会計20億3674万円 公営企業会計7億526万3000円



プロ選手の熱心な指導

問 25歳のつどいでの写真撮影。

問 お仕事付きお試し移住事業とは。

答 「旅のプログラム」として町内で仕事をしながら生活をして、地域の方々と交流をしていただくプログラムとなる。委託先は観光協会や株式会社ENGAWAを予定。

仕事をみつけるに当たって観光協会の会員の方々に募集をかけていく予定。

問 プロスポーツコンテンツ委託料の詳細は。

答 企業版ふるさと納税を活用し、埼玉武蔵ヒートベアーズを活用しての事業である。令和6年度は、中学校での体育の授業に選手に来ていただいて、走り方の教室やスポーツ少年団での野球教室を開催した。令和7年度もそれに準じた形で進めていく。

農業

問 地域農政未来塾負担金の詳細は。

答 地域づくりに携わる町職員の研修のためのもので、講座の実施、現地調査として日本各地の農業や地域づくりの現場の視察、フォローアップ研修などの負担金。

問 集落支援員設置事業に関する任務等詳細は。

答 新任5名と継続3名を予定している。新任5名は専任型が2名、兼任型が3名で、うち専任型の1名は休耕地の把握解消、町民が

農業に親しめるようなコミュニティづくり、町外からの農業体験の受け入れ等、もう1名は林業、有害鳥獣対策等、兼任型3名のうち2名は子育て支援の分野で居場所づくりに、もう1名は広報活動に、それぞれ取り組んでいただく予定。また、継続3名のうち1名はITよろず相談、もう1名は防犯、もう1名はコミュニケーションづくりに、それぞれ取り組んでいただく予定。

役場その他

問 町長の人口減少に対する考えは。

答 人口が減っていくとい

予算に対する討論

【賛成討論】宮原みさ子 議員

町民が多様な幸せの花が開くカラフルタウンに向けて、横瀬町らしく、積極的果敢な予算編成になっている。町長が挙げた「対話」「連携」「チャレンジ」を実践しつつ、町民の皆様がその人らしい幸せを実感できるよう、町にとっても住民にとっても、最適な行政サービスを行ってほしいと願います。

厳しい状況にありますが、財政的バランスの取れた予算になっていると思います。

問 総合福祉センター施設等整備事業の改修工事の詳細は。

答 ボイラー室排気換気扇の交換工事、談話室の床の張り替え工事、非常灯の修繕。

うことよりも、早い速度で人口が減り続けることが問題であり、最終的には住民一人一人が幸せであることが重要であると考えている。

問 連携推進室の強化とあるが、具体的にどのようなのか。

答 いろいろなことで複数の課が関係することや連携することが増えてきているので、限られている中ではあるがマンパワーを強化する予定。

議会はココに注目!

3月定例会

3月定例会での主な質疑

補正予算質疑

がん検診事業

問 がん検診委託料が減額になった理由は、
答 全体的な見込みより受診者数が少なかったため。

移住定住促進事業

問 二地域居住先導的プロジェクト実装事業とは。

答 スタートアップ企業、子育て層、大学生、フリーランスの4つの層を対象に1か月程度生活してもらい、仕事、住まい・コミュニティ、教育、子育て、交通等に関する、中長期的な調査課題を調査し、今後につながる先導的な取り組み。

問 二地域居住施策のお試し移住について、何名くらいを想定しているか。

答 4つの層ごとに4〜5名ずつを予定している。

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…^{じよせき}除斥 ※…議長

令和7年3月定例会 審議した議案とその結果		審議結果	森沢望美	関貴志	町田多	向井芳文	黒澤克久	宮原みさ子	新井鼓次郎	内藤純夫	若林想一郎	関根修	小泉初男	若林清平
報告	議会の委任による専決処分の報告について	了承	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
専決処分	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度横瀬町一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
条例改正	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町職員の給与の一部の控除に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
補正予算	横瀬町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和6年度横瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
当初予算	令和6年度横瀬町下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和7年度横瀬町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和7年度横瀬町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和7年度横瀬町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	令和7年度横瀬町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
人事	令和7年度横瀬町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町副町長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町農業委員会委員の任命について（議案第24号～議案第33号）	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
発議	横瀬町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
	横瀬町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○



公開
します

令和6年度
議長交際費 計10万480円

議長交際費とは、議長が議会を代表して外部と公の交際を進める場合に必要とする経費で、慶祝費・会費・弔慰・見舞・賛助金などがあります。令和6年度は賛助金、年末救援統一募金や会費等に支出しました。



幼児の給食費無償化の考えは

内藤 純夫 議員

(町長) 町の財政を踏まえ検討してゆく

問 出生数が減っている今、子育て支援策の一環として幼児の給食費無償化実施の考えは。

答 町長 町の財政を踏まえ、国・県の動向を見ながら検討していく。

問 昨年6月議会で、教育長は「不登校は未然防止が一番大切」と発言していた。横瀬小学校では一定の成果が出ていると感じているが、どのような対策をしているのか。

答 教育長 個別の柔軟な登校方法・学習支援・家

庭との連携で好転している。組織的な体制づくりができ、特に養護教諭が組織のキーマンとして支援している。これからも未然防止に努める。

問 デジタル教科書の導入の考え方は。

答 教育長 紙の教科書も使いながら、学習内容に適した使い方と指導方法を組み合わせることが重要と考える。今後、国の報告等を踏まえ、紙とデジタルを併用していく形を取りたい。



下水道管等の地中埋設管の状況について

黒澤克久 議員

(建設課担当課長) 大規模な事故は起こりにくい状況

問 下水道管等の管理状況は。また、国土強靱化計画に老朽インフラ対策が盛り込まれたが、町の対応は。

答 建設課担当課長 当町に敷設されている下水道管は、硫化水素の腐食にも強く、管種・口径・埋設深度・老朽度などから八潮市のような事故は起こりにくい状況である。

管路施設について、マンホールポンプ等の毎月点検を実施のほか、日常的に道路陥没等の状況確認に努

めている。また、緊急点検を行ったが、災害につながる異常等は確認されていない。

国から上下水道耐震化計画策定の要請があり、秩父広域市町村圏組合水道局と調整し、計画策定済み。

今後、老朽インフラ対策として、ストックマネジメント計画を策定し、水質管理センターの更新工事を進める予定。

下水道管工事



届け町民の声！ 広がれ対話！

向井芳文 議員

(対象課各課長) より一層の充実にしっかり努めていきたい

問 まちづくりで目指すべきところは住民満足度の向上であり、そのために不可欠な町民の意見収集【「23区担当窓口」「なんでも相談室」「町政懇談会(町民と語る会)」「まちの声を聴くプロジェクト」「子ども懇談会並びに若者の意見収集」「その他の意見収集】についての現状と課題、今後の展望は。

答 まち経営課長・総務課長・町民課長 様々な機会に町内の各種団体とも連携し、積極的に町民の意見収集を行っている。また、収集した意見は役

場内で共有の上、関係各所と連携して調査・検討を行い、できることから反映している。今後は、いろいろな工夫をしながらより一層の意見収集の充実とその反映ができるよう、しっかり努めていきたい。

その他

「町長の掲げる「対話」の取組」について質問

関口なんでも相談室長



町政について、各議員がみずからの政策提言も含めて町に考えを聞くのが「一般質問」。質問内容は、各議員が自由に決めることができます。

(1人あたりの質問時間は答弁含め60分)



8人の議員が
登壇しました



誰一人取り残さない支援を

宮原みさ子 議員

(町長) 一人一人に寄り添える支援を目指す

問 町で行っている終活支援の取組と今後の課題は。

答 福祉介護課担当課長 地域包括支援センターで個別の相談の対応、「私の療養手帳」の配付、人生会議の研修等を開催している。成年後見支援センターが開設され、制度に関する研修やエンディングノートの書き方講座を実施している。今後も自身の最期をどのように迎えたいかを考えるきっかけづくりと、一人一人の状況に寄り添える支援をしていく。

問 耳の聞こえの悪い高齢者に対して軟骨伝導イヤ

ホンを役場や公共施設窓口
に導入する考えはあるか。

答 福祉介護課長 既に導入している自治体の情報収集を行い、検討していく。

問 地域猫に対する不妊去勢手術費用に対する補助の考えはあるか。

答 振興課長 苦情や相談件数が年々増えていることから、令和7年度予算で不妊去勢手術費用の一部補助を行っていく。

軟骨伝導イヤホン



暮らしやすく住み続けられる横瀬町を！

若林想一郎 議員

(町長) 新たな展開を視野に充実を図る

問 兎沢左岸は、横瀬の中心地に残された唯一の開発可能な場所であり、町民の期待も大きい。町の活性化に向けて、国道299号線の南側地域を全面的に開発していくことが必要だと思うが、町の考えは。

答 まち経営課長・建設課長 町の総合振興計画やマスタープランにあわせて、にぎわいの創出を図るための公園整備等を段階的に進める。現在の地形を生かす方向で考えていくので、埋立て等は考えていない。

問 急速に進む人口減少と超高齢化については、総合的かつ迅速な対応が求められている。具体的な取組は。

答 健康子育て課長・町長 人口減少対策の子育て支援策として、結婚・妊娠・出産・子育てを通じて切れ目ない様々な施策を実施してきた。新たな展開を視野に充実を図っていき、移住についても継続して取り組んでいく。



平成17年実施の人件費削減見直しを！

関根 修 議員

(総務課長) 適正化に向け総合的な検討を進める

問 平成16年に緊急行財政改革プランを策定し、議員の報酬等、町長等3役の給与、非常勤特別職の報酬、一般職員の各種手当等について、人件費の削減を実施した。現在の財政状況により削減の見直しをしてはどうか。

答 総務課長 長期にわたる報酬の据置きが人材確保や世代交代に与える影響は軽視できないと認識している。報酬水準の見直しは今後の課題であり、適正化に向け総合的な検討を進めることが必

要である。

その他

「横瀬町における福祉の向上」「旧LAC横瀬の設立から現在の事業展開の経緯」について質問

平成16年緊急行財政改革プラン



本会議は原則公開、どなたでも傍聴できます。事前予約は不要です。役場3階にお越しください！

*議会だよりでは、要約版を掲載しています。



議会ホームページ



いつになったら直すんだ！町民グラウンドの水はけ

関 貴志 議員

(教育次長) 高額な改修費になるため、整地作業での管理で行っていく

問 過去に行った改修工事は。

答 教育次長 平成2年度・4年度・5年度に側溝工事、平成6年度に排水設備工事を行っている。側溝は北側を除いて3方向の全てにあり、排水は北側の町道に向けて排水している。

問 防災ヘリコプターを使って災害時の拠点として活用する場合に、車両の乗り入れなどは考えているのか。

答 教育次長 車の出入りを考え改修する場合、排

水管の布設替えて約1億円、排水盤の場合約2.8億円、土壌の改良を含めるとさらに費用がかかってしまう。緊急時の防災ヘリ発着を目的としてグラウンドの土壌改良を行うのは横瀬町の財政では現実的に難しいと考える。

町民グラウンド上段



危険地域内の公会堂を移築する考えは

町田 多 議員

(まち経営課長) 最大限のサポートをする

問 土砂災害防止法レッドゾーン内の20区公会堂を、旧芦ヶ久保小学校エリアへ移転する考えは。

答 まち経営課長 構築のための補助金の対応等、最大限のサポートを考えているが、町が実施主体となって整備する考えはない。

問 川東地区のコミュニティ防災センターのような複合施設の構築の考えは。

答 総務課長 20区公会堂エリアの災害時における危険性は認識している。活性化センターの利用

や他地域の公会堂の共同利用等を検討する必要もある。

また、防災施設等の複合施設の構築は、地域の実情を考慮し、区の再編や消防団の統合等、総合的な検討が必要と認識している。

20区公会堂



委員会から報告します

災害用物資の備蓄状況 総務文教厚生常任委員会

①災害用物資の備蓄状況

備蓄品の分散や発電機に関する質疑等がありました。

②教育委員会報告

進路希望状況について等の質疑がありました。

下水道事業の進捗状況

産業建設常任委員会

①下水道事業の進捗状況

下水道接続時の補助や下水道の普及率等の質疑がありました。会議終了後、ウォーターパーク・シラヤマ駐車場拡張工事の現地視察を行いました。

常任委員会の再編、議会報告会を検討

横瀬町議会改革特別委員会

12月26日、1月30日に開催。常任委員会の再編、議会報告会について議論しました。議会報告会を6月に実施する予定となりました。

当初予算等を審議

秩父広域市町村圏組合議会

1月16日の全員協議会では水道局から報告を受け、2月6日の全員協議会では議会運営を検討しました。2月13日の定例会では2名の一般質問のほか、令和7年度の当初予算等の審議を行いました。

空き家対策の勉強会を開催！

令和6年度秩父町村議員クラブ研修会
(2月12日(水))

「これからは二地域居住の時代!？」

令和6年度秩父町村議員クラブ研修会が東秩父村役場にて開催され、「空き家の利活用と二地域居住の時代へ」をテーマに、空き家対策について学びました。今議会にて審議した当町の令和7年度当初予算にも、「二地域居住」に関する予算が計上されていますが、これからは、2か所の地域での多様な暮らしが、当たり前になる時代が来るのかもしれません。



救急医療体制の充実に向けて

ちちぶ定住自立圏共生ビジョン説明会
(2月7日(金))

ちちぶ定住自立圏を構成する4町議員向けに、第4次共生ビジョンの内容説明が行われました。令和6年度との変更点として、「救急医療体制の充実等」のオンライン診療窓口の開設予定等の説明を受けました。

よこぜ議会ナビ

No.146

2025年春号(令和7年3月定例会)

発行：埼玉県横瀬町議会

〒368-0072

埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬 4545 番地

tel.0494-25-0119 fax.0494-23-9349

発行責任者：議長 新井鼓次郎

編集：広報常任委員会

委員長…宮原みさ子 副委員長…向井芳文

委員…黒澤克久・町田 多・関 貴志

森沢望美

次の定例会は 6月中旬 開会予定

詳細は 横瀬町議会ホームページをご覧ください

横瀬町

合併70周年・町制施行40周年記念式典

2月11日、町民会館において開催。来賓、招待者、表彰受賞者など、約200名が参加しました。



議会関係受賞者（敬称略）

【顕彰の部】

自治功労者

若林新一郎 元議員、若林スミ子 元議員

【表彰の部】

永年勤続 特別表彰者（議会議員25年以上）

小泉初男 議員、関根修 議員



関口昌一 参議院議長にもお越しいただきました

編集を終えて(広報委員会から)

任期の2年間、このメンバーで編集してきました。

1期目の議員3人が加わり、活発に意見を出しあい、新しい試みにチャレンジしてきました。さらに町民の皆様に読んでいただける議会ナビを目指します。ありがとうございました！

